

道北地域の景気の基調判断を据え置きました（7月）

皆さん、いつもこのサイトをご覧いただき、誠にありがとうございます。

さて、7月1日に公表しました「[金融経済概況（道北地域）](#)」では、道北地域の景気の基調判断を「低迷しているものの、持ち直しの動きが広がっている」として、前月までの表現を据え置きました。昨年12月からこの表現をしておりますので8カ月連続です。これまで同様、持ち直しの動きが広がりをもって展開しています。最終需要項目の中では、前月「低水準ながらも増加に転じている」と上方修正した設備投資の判断を、「低水準ながらも増加している」に変更しましたが、判断としては不変です。

同じく7月1日に公表しました「[企業短期経済観測調査（道北地域）](#)」では、企業の業況感が、若干（2ポイント）ではありますが、改善したことが確認されました。製造業、非製造業ともに改善しましたが、製造業での改善が顕著です（業況判断D.I.が9ポイント改善して0ポイントとなりました）。今回の短観のポイントは、[こちら](#)をご覧ください。

以下、当月のコメントです。

1. 6月短観における平成22年度上期の事業計画（売上高、利益、設備投資）が、良好な結果となりました。全般的に前回調査の3月時点より上方修正され、売上高は前年同期比で4%増、経常利益・当期利益とも同じく3割増、設備投資は同じく10.9%増となる計画であることが判明しました。景気回復に伴い、住宅市場に動意がみられていることなどが背景にあります。
2. 雇用環境に改善の兆しが窺われます。地域によるばらつきがあるほか、水準自体はまだ低いのですが、前年との対比で、新規求人が増加しているほか、有効求人倍率も概ね改善しています。

旭川～富良野～十勝と続く「北海道ガーデン街道」の起点でもある旭川市永山町のガーデンに、先日お邪魔しました（トップページに[写真](#)を掲載しました）。春から秋にかけての限られた季節ではありますが、絶え間なくいろいろな種類の花が咲くそうです。花は心を和ませてくれます。それぞれ個性のある7つのガーデンと宿泊施設が広域で連携して、旭川空港から帯広空港までの新たな旅の提案をしています。周辺地域の魅力スポットも紹介しています。南北約200キロにわたり、北海道ならではの醍醐味です。

お知らせ欄にも[ご案内](#)しておりますが、7月24日に金融経済講演会を開催します。「世界一わかりやすい金融経済の授業」とのタイトルで細野真宏氏に講師をお願いします。皆さん奮ってご参加ください。

（注）

平成22年7月1日

尾家 啓之

（注）金融経済講演会はお陰様を持ちまして、盛会のうちに終了いたしました。たくさんの皆様にご参加いただき誠にありがとうございました。＜平成22年7月24日記＞